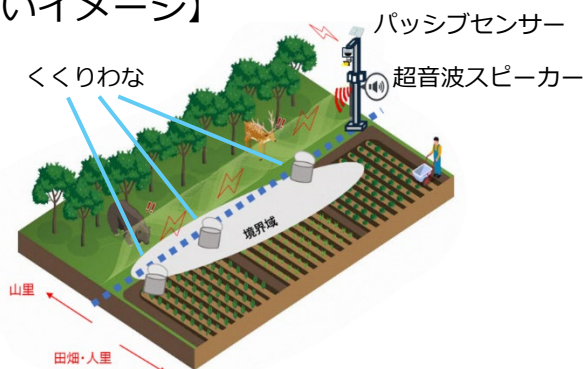


実施年度	実施主体	対象獣種	取組内容			
			捕獲	追払	点検	他
R7～R8	北海道津別町	シカ	○	◎	—	—

事業概要

- シカの忌避音を出力する超音波スピーカー、動きを感知し音を出すパッシブセンサーによる「慣れ」を生じさせない追払いの実証
- 追払い機器設置前にセンサーカメラで得られたシカの侵入ルート情報を、くくりわなの設置にも活用し、捕獲と侵入防止対策を複合的に実施することで、シカの警戒心を誘発させる

【追払いイメージ】



【実証機の形状】

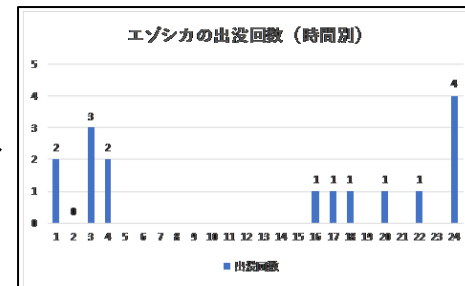
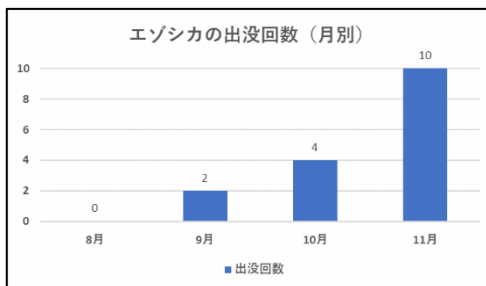
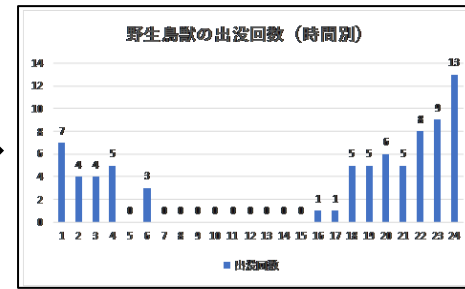
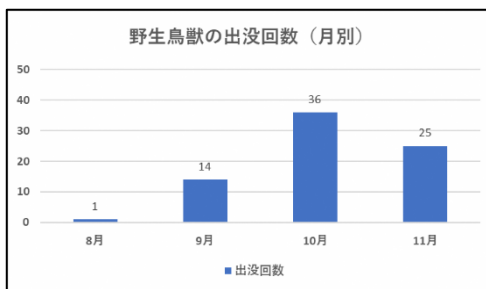
電源は太陽光パネルを採用



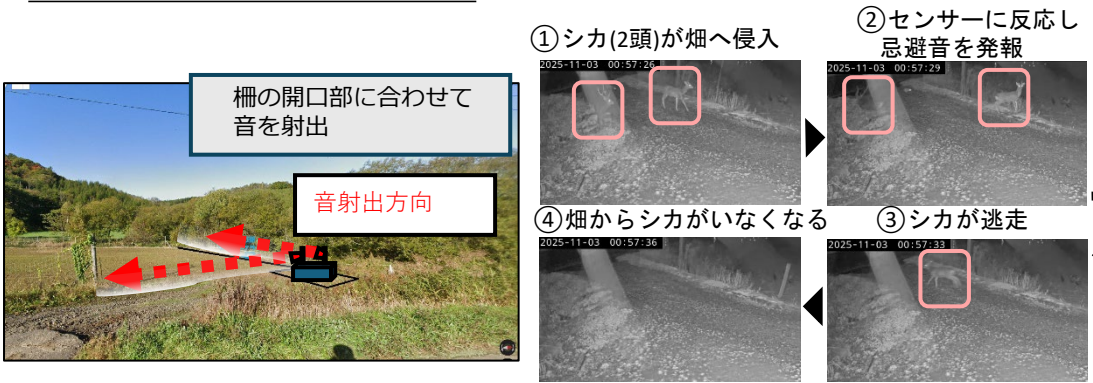
【データの利用イメージ】

(実証期間 8月22日～11月25日)

センサーカメラの映像から、シカを含む野生鳥獣がほ場に出没するの回数や時間帯を記録し、必要な被害防止対策を協議



シカ 忌避音発砲回数16回 うち、逃避行動15回 (約94%)

	R7年度実績	次年度以降実施予定
<p>実証内容</p>	<p>R7.8～11月 追払い実証機器設置</p> <ul style="list-style-type: none"> シカの忌避音を発報する超音波スピーカーに反応したシカが警戒・逃避行動を示す映像が確認でき、期間中はシカによる食害は発生しなかった。また、機器撤去時まで音慣れして反応が無くなる様子は見られなかった。 動態検知カメラで24時間撮影することで、シカが畑へ侵入する際の行動パターンや出没が多い月・時間帯（22～24時が多い）が明確となったことに加え、畑に出没する獣種（クマ、シカ、タヌキ、キツネ、ネコ、イヌ）も確認できたため、より効果的な対策に向けた検討材料が増えた。 <p>R7.8～10月 くくり罠（振動検知センサー付）設置</p> <ul style="list-style-type: none"> エゾシカを3頭捕獲。いずれもkagattaによる振動検知で捕獲状況を遠隔で確認できたため、畑への侵入防止のほか、見回り作業の負担軽減（毎日必要な見回りが週1回程度に軽減）を図ることが出来た。 	<ul style="list-style-type: none"> 音に驚いたシカが作物のある方向へ走り込んでしまうケースも発生していることから、発報する角度やタイミング、音の種類等を変えながらより効果のある侵入防止対策を検証していく。 R7年度は実証ほ場において10数回シカの出没が確認されているが、機器の検証を行うにはデータ数が少ない。次年度製作する2号機については、毎日出没が確認されているほ場に設置し、より多くのデータが取れるように事業展開を行う。 実証機器の目的は、畑への侵入防止だけでなく、くくり罠や忌避音といったシカの警戒心を誘発させる効果により、畑に寄り付かせなくすることが最終的な目標であるため、年間を通じて出没回数がどれだけ減少したかを注視していく。
<p>導入機器 ※交付金活用外の機器を含む</p>	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークカメラ P1445-LE (AXIS) 2台 パッシブセンサー PIR-50N (TAKEX) 2台 超音波スピーカー（特注）1台 收音マイク MG-106 (noboru) 2台 ポータブル電源 JE-2000C (Jackery) 2台 バッテリーパック JBP-2000A (Jackery) 4台 ソーラーパネル JS-200D (Jackery) 6枚 振動検知センサー Kagatta (NTT) 4台 くくり罠（ロケット式バネ搭載）（NPO法人ファームिंगサポート北海道）4台 	<ul style="list-style-type: none"> ネットワークカメラ 1台 パッシブセンサー 1台 超音波スピーカー 1台 收音マイク 1台 バッテリーパック 2台 ソーラーパネル 4枚